

北九州市民の会ニュース

新婦人（北九州7支部）が「市民の会」と懇談

“市長選で女性候補を擁立してほしい”

6月14日（火）午前、市立生涯学習総合センターで、新婦人北九州7支部の中心メンバーが市民の会事務局と懇談。市政への要求と活動の現状を縦横に語りあいました。

各支部の発言内容は以下の通りです。

小倉南：会員の現状維持が困難になっている。市政では、保健所を1か所に削減したことでの職員の300時間を超える残業実態が深刻。学校統廃合、通学路問題、学校給食の民営化の弊害など指摘。

小倉北：会員の高齢化で福祉乗車券の要求は強い。ほかに補聴器助成を7支部で議論陳情した。

八幡東：会員は高齢化している。学校統廃合により若い人が住まない街になっている。次世代につなぐため、ジェンダー部を置いた。都計審は、区域区分見直しは、基本的には正しいという見解、今後も油断できない。

若松：以前は、海上風力発電やPCB処理問題の活動に取り組んだが今は、頓挫している。福祉乗車券署名に取り組んだ。区域区分問題では撤回を求める署名に取り組み感謝された。

門司：北九州市で最も深刻な高齢化。会員も縮小、娘・



来年早々の北九州市長選に向けて活発な意見交換となった懇談

孫に声をかけている。運動の1成果として、学校に生理用品を常備させた。濃厚接触者として保健所の電話対応に唖然（40回電話、挙句「ホームページを見てください」）。複合施設問題で、市民の会と共同で撤回運動をしている。

八幡西：5月29日支部大会無事終了。会員減少は小組活動で対応。郊外団地居住者は、買い物難民となっている。市長選は女性候補者を立てていただきたい。



**6・12 戦争反対!
いのち・くらし・憲法を守る!
福岡県下一斉行動**

6月12日（日）14時から小倉駅南口ペデストリアンデッキ周辺で、福岡県そうがかり実行委員会が呼びかけた「6・12 戦争反対! いのち・くらし・憲法を守る!」福岡県下一斉スタンディング行動が取り組まれました。

北九州市では、「平和をあきらめない北九州ネット」が呼びかけました。北九州地区労連や新日本婦人の会、健和会、北九州社保協、ユニオン北九州、憲法改悪に反対する政党などから50人を超える参加があり、各団体によるリレートーク、スタンディング、署名の集約などに元気いっぱい取り組みました。署名は27筆集約されました。

（堀田和夫氏 FBより）

八幡市民会館の活用を求める連絡会（69回）開かれる 8年半の運動記録 パンフレット発行へ

6月16日(木)、2か月ぶりに上記連絡会が開かれました。検討事項の一つは、約8年半の運動を通して改善されなければならないと痛感した3つの課題について。情報公開制度、陳情請願制度、公共施設マネジメント制度の改善を求めて、いかに運動をしていくか検討した。

もう一つの課題は、約8年半の運動の記録をパンフレットにすること。6月いっぱいが原稿締切、10月発行。中間報告がなされたが、ワクワクするような内容と作業の進み具合を感じた。

次回連絡会は、8月4日(木)13:30 大谷市民センター。



8年半の活動で見えてきた課題について話し合うメンバーの皆さん



福岡県自治体問題研究所第45回総会・記念講演 ウクライナ侵略テーマに開催

6月4日(土)、総会・記念講演は早良市民センターで開催されました。記念講演はユーチューブで同時配信されました(右下のQRコードを読み込んでご覧ください)



い。今でも、自治研ホームページから見ることができます。

《第一部》記念講演会は、13時30分～15時55分 テーマ「ロシアのウクライナ侵略を考える—日本国憲法・国連憲章・国際人道法の立場から」

◎主講演「ロシア・ウクライナ戦争が生み出した避難者問題と人間の安全保障」

講師は、木村公一牧師 福岡国際教会(日本バプテスト連盟)

◎講演「今回の戦争をどう見るのか」

講師は、石川捷治・九州大学名誉教授(政治史)

《第二部》総会は、16時5分～

16時55分

総会議事が報告され承認された。

平和のための戦争展 実行委員会開催

企画、展示内容を確認

第27回平和のための戦争展in北九州の第3回実行委員会が6月8日夜、北九州市立生涯学習総合センターで開催され、約20人のメンバーが参加し、戦争展当日の準備段取り、展示パネルの内容確認などを話し合いました。

今回の戦争展は8月27日(土)、28日(日)、八幡西区黒崎の黒崎コムシティ(JR黒崎駅隣)で開催されます。2年ぶりに戦争遺跡をめぐるツアーも行う予定で、若松区の戦跡めぐりを計画しています。

恒例の「青年の主張」は、北九州平和資料館(若松区)を訪れた市内大学生に参加を打診する予定で、8日の実行委員会にも学生が参加しました。

次回実行委員会は7月20日に行う予定です。



メンバー全員が戦争展への思いを話し、当日に向けて
団結を強めた実行委員会

